

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア



我孫子駅北口の花壇

しらかば北

発行責任者
井上文夫

三月議会報告

船橋まさる

「アスベスト問題」の

十分な対応を！

私は3月議会では、全国的に大きな社会問題になっている「アスベスト被害」に絞って、市側の対応を質問しました。質問要旨と市側の回答は次のとおりです。

アスベスト問題は市民の健康に直結する大きな問題ですので、私は今後とも十分な対応を求めて引き続き取り組みたいと思います。

【アスベスト問題とは】

①学校などの特殊建築物や一般家屋などのアスベスト使用実態を把握していますか？

アスベストは防火性、耐火性に優れ、安価であることから過去において建材をはじめ多くの製品に使われてきました。その背景には国がアスベストの輸入を勧めてきたことがあります。しかしアスベストの繊維は非常に細かいため製造や建設の過程で飛散しやすく、吸った人の肺の組織に滞留して中皮腫や肺がんを発症する危険性があるため、2006年に使用が禁止されました。発症までに十数年かかることから未だに毎年多くの方が発症しており、2015年には中皮腫死亡者は全国で1500人以上に及んでいます。特に建築業では毎年500人以上が労災認定されるなど多くの被害者が発生し続けています。

②アスベストの危険性を「あびこ広報」に載せて市民の方々に周知していただきたい。

アスベスト問題は市民の健康に直結する大きな問題ですので、私は今後とも十分な対応を求めて引き続き取り組みたいと思います。

③市内におけるアスベストの被害の実態は？

アスベストは防火性、耐火性に優れ、安価であることから過去において建材をはじめ多くの製品に使われてきました。その背景には国がアスベストの輸入を勧めてきたことがあります。しかしアスベストの繊維は非常に細かいため製造や建設の過程で飛散しやすく、吸った人の肺の組織に滞留して中皮腫や肺がんを発症する危険性があるため、2006年に使用が禁止されました。発症までに十数年かかることから未だに毎年多くの方が発症しており、2015年には中皮腫死亡者は全国で1500人以上に及んでいます。特に建築業では毎年500人以上が労災認定されるなど多くの被害者が発生し続けています。

④アスベスト使用状況調査やアスベスト使用建物の解体には、多額の費用が発生するので、助成金制度を創設していただきたい。

アスベストは防火性、耐火性に優れ、安価であることから過去において建材をはじめ多くの製品に使われてきました。その背景には国がアスベストの輸入を勧めてきたことがあります。しかしアスベストの繊維は非常に細かいため製造や建設の過程で飛散しやすく、吸った人の肺の組織に滞留して中皮腫や肺がんを発症する危険性があるため、2006年に使用が禁止されました。発症までに十数年かかることから未だに毎年多くの方が発症しており、2015年には中皮腫死亡者は全国で1500人以上に及んでいます。特に建築業では毎年500人以上が労災認定されるなど多くの被害者が発生し続けています。

(答) 今後検討いたします。

以上の通り、今まで市として全く取り組まれていないことが浮き彫りになりました。

3月議会で、昨年の平均7500円値上げに続く「議案12号、国保税4500円値上げ」の提案に対して、あびこ社保協は反対の請願を出しました。3月14日本会議で、岩井康議員が議案12号に反対し、「厳しい財政はわかるが、市民本位の立場から請願に賛同を」と発言。しかし、14対9で議案12号が採択され、相反する内容の請願は「みなし不採択」となりました。

国民全てが何らかの公的医療保険制度に加入する「国民皆保険制度」として整備された国保法。我孫子市は30%の世帯が加入しています。事業者負担がない国保は、国庫負担が不可欠で、当初は「総医療費の45%」でしたが、今では20%台に減額され、全国で保険税値上げに悲鳴が上がっています。赤ちゃんから均等割が加算され、子育て世代の保険税は同じ年収の会社員の2倍以上。

全国知事会は子ども均等割を無料にすべきと「一兆円の国庫補助」を要望し、昨年からの就学前の均等割は半額になりました。


高過ぎる国保税のもとで、我孫子市でも20%の世帯の滞納があります。

「所得が低いのに保険税が高すぎる」この不平等を正すのは政治の責任です。全ての人が「医療を受ける権利」が保障されるように、声をあげてください！

「国民健康保険税を値上げせず 国庫補助を求める請願」は

不採択 になりました

我孫子社保 田中なつみ



日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



花火

4人全員が24歳で犠牲になった。

志位議長が赤旗で「戦前の日本共産党員田中サガヨさんについて」語った記事が大きく紹介されていた。志位さんはこれまで、戦前の日本共産党の歴史で不屈に闘った3人の女性党員の紹介を続けてきた。伊藤千代子、飯島喜美、高島満兎(もと)である。そして4人目が田中サガヨ▼伊藤千代子については「昨年けやきプラザで映画「わが青春つきるとも 伊藤千代子の生涯」を上映した。飯島喜美については3月の後援会ニュース「しらかば北」で、簡単に紹介した。また高島満兎は千葉医大(現千葉大学医学部)などで日本共産青年同盟の活動を指導したことなどが知られている▼この3人については、治安維持法による弾圧で奇しくも同じ24歳で亡くなったことは知っていた。そして志位さんの記事で、田中サガヨも24歳で亡くなったことを知った。伊藤千代子、飯島喜美、高島満兎、田中サガヨがいずれも24歳の若さで亡くなっている。偶然とはいえ、優れた女性党員が弾圧によって同じ24歳で亡くなっていることに怒りと驚きを感じている。

(竹)

日経新聞を読む

香月義彰

家に朝日新聞があり、六年生ごろからよく新聞を読んでいました。大学に入り先輩に勧められ、四月から赤旗の購読をはじめました。卒業後証券会社に就職し、入社日の翌日から日本経済新聞を読む様、強制(?)されました。以来四五年以上三紙の夕刊、日曜版を含め広告にまで目を通す熱心な読者です。

最近の日本経済新聞に気になる記事が散見されます。「経営の視点」に「相次ぐ不祥事、労組の影薄く」とのタイトルで「組合は現場の声にきちんと耳を傾けてきたのだろうか。」と問いを発し、「会社と労組の長年のなれ合いが不正を見て見ぬ風土を作る温床になっていないだろうか。」と組合が炭鉱のカナリアになっていないと指摘している。「大機小機」に「裏金議員の処分は選挙民の手で」とのタイトルで「自民党は処分及び腰だ。5人衆の言動を見ると、ほとぼりが冷めるのを見計らい、次回選挙でみそぎを行い、最悪でも比例復活を狙っている。注目点は自民党の比例名簿である。」と結んでいる。夕刊の『十字路』

「北」地域の情報 建設中の飲食店はどんな店？



で「技術革新だけでは成長できない」とのタイトルで「株高一見好況らしきものも、大多数の有権者からみれば、格差社会の繁栄そのものなのだ。経済が成長力をとり戻すためには、技術革新の成果が経済社会全体にもっと分配されなくてはならない。」と強烈である。どれも日経新聞の名物コラムで、著名経済人や匿名コラムニスト、日経の編集委員が書いている。日経の筆者や読者である金融関係者の中でも現状に対して少なからぬ危機感があると思える。

国道6号線の辻仲病院の向かいに工事中の店舗がある。6月に完成するというコーヒショップ スターバックスである。建物はほぼ完成しており、現在は広い駐車場を整地中である。この国道の取手から柏方面

の上り線にはコーヒショップが見当たらないので、開店したらさぞやにぎわうだろうという声もある。

(写真とも 江)
【「北」地域の情報は
随時掲載します】

私の写真館

根戸の森の帰り道、変身したわたしが前をさっそうと行く。巨人になって、思わずシャッターを切る。幻のような一瞬にウキウキ、ドキドキでした。



伸びてのびて (斎藤とよ子)

事務所で「お花見」

4月7日、「つくしの丘」事務所で花見をしました。事務所前の大家さん、加藤さん宅の庭に大きなオオシマザクラがあります。例年より少し遅れてこの日が満開でした。ソメイヨシノと少しちがった純白の花が印象的でした。市議の船橋さん、前市議の野村さんも参加して、缶ビールを片手に和気あいあい談笑、つくしの野の春を楽しみました。(竹)



市政報告会と 後援会総会のお知らせ

4月20日(土) 14時~

北近隣センター
つくし野館2・3号室

船橋まさる議員の市政報告

国政・市政・暮らしの問題など自由に話せる場です。
お気軽にご参加ください

日本共産党我孫子北地域後援会